

ネット通販が普及すると、その先には

結論から述べます。

ネット通販の普及によって、商品が届かなくなる事態が生じます。

それは、ドライバー不足に拍車がかかるからです。

さらに「買い物弱者」の増加が、トラックドライバーの重要を増加させます。



ネット通販は、確かに便利です。

画面上のクリック一つで、商品が自宅に届きます。自分は何もしなくても。

しかし、そのネット通販の普及がリアル店舗の縮小・再編を促します。

つまり、自分から店に出向いて買い物をしなくなるから、リアル店舗が立ち行かなくなるのです。

そうすると高齢者が困ります。

いえ、困るのは高齢者だけではありません。

ネット通販の普及によってトラックドライバーがさらに不足してしまい、“物流破綻”というべき事態が生じます。

そうすると、スーパーにもコンビニにも自販機にも、商品が補充されなくなります。

マイカーを運転できる若い世代は、自分で店舗に出かけて買い物をしましょう。

利便性だけを追求し、運送量を増やし続ければ、日本社会は物流面から破綻してしまいます。